

安中市 議会だより

◆発行日 平成 28 年 10 月 28 日 ◆発行 安中市議会 ◆編集 安中市議会報編集委員会 ◆印刷 株式会社ヒューマンサポート



安中市議会初の 子ども議会開催

去る8月7日（日）安中市議会
では、初めてとなる子ども議会
を開催しました。



平成二十八年安中市議会第三回定例会は、九月一日から九月二十日までの二十日間の会期で開催されました。

この定例会に市長から提出された議案は、条例の一部改正や平成二十八年度補正予算など十件、平成二十七年度決算関係が九件、合わせて十九件が提出されました。また、議員提出議案として意見書案一件が提出されました。

定例会のあらまし

- ◇1日＝本会議 会期の決定、議案十九件を上程。決算審査特別委員会を設置、議案を各委員会に付託。
- ◇5・6日＝決算審査特別委員会
- ◇8日＝総務文教常任委員会
- ◇9日＝福祉民生常任委員会
- ◇12日＝経済建設常任委員会
- ◇14・15日＝本会議 一般質問
- ◇20日＝本会議 委員長報告、質疑、討論、採決。市長提出議案十九件を可決。議員提出議案一件を可決。閉会。



今定例会における一般質問は、9月14日と15日に行われ、10名の議員が市政全般について、当局の所信をただし、活発な議論が展開されました。質問者全員の質問と答弁の要旨を質問者の原稿に基づき発言順に掲載しています。

議会を傍聴しましょう!

次の定例市議会は、12月2日～12月15日までの予定です。



櫻井 喜久江 (無所属)

市民ギャラリー設立・人口減少対策・花と緑のぐんまづくりについて

市民ギャラリー設立について

問 他市に紹介できる発表の場の市民ギャラリー兼多目的ホールを設立して欲しい、と文化協会と市民が要望している。美術館積立金もあるが、今後の設立の予定は。

答 新規建設より既存施設の用途替え、リニューアルを考えるべきだが、現時点では、旧郡役所やふるさと学習館、松井田文化会館があり、市民ギャラリーとして検討していきます。

建設予定地について文化センター隣接や敷地内、旧安中高校跡地等の意見があるがどうか。

答 建設が決定した場合は意見を聞き、最適候補地を選定します。

人口減少対策について

問 高齢者や若者の移住者受け入れについては。

答 空き家バンクなど移住希望者への住宅斡旋、移住定住奨励金等の優遇制度を整え、インター



旧郡役所で開かれた美術展

企業誘致については。

問 若者の移住に必要と思われる企業誘致については。

答 工業団地の選定も含め、協議検討していきます。誘致に向け、企業情報の収集に努めます。

その他、花と緑のぐんまづくりについて質問しました。

ネットによるPR動画の配信や、秋に東京で開催の「ぐんま暮らしフェア二〇一六」へ参加を予定し、積極的な情報発信に努めます。雇用の創出、創業支援等についても取り組んでいます。



佐藤 貴雄
(民声クラブ)

有害鳥獣・危険昆虫等の対応・ 墓苑整備事業について

有害鳥獣・危険昆虫の対応について

- 問** 野生鳥獣被害は農作物被害や営農意欲減退、耕作放棄地の増加等にも影響する。捕獲隊の人材確保を考えるべきではないか。
- 答** 地域に追い払い隊の協力や支援制度を充実させます。
- 問** 国の交付金を利用した処理施設の新設や対策協議会の設置は。
- 答** 処理施設は課題が多いと考えます。対策協議会は準備中です。
- 問** 今の季節は特に危険なスズメバチ駆除の方法は。
- 答** 駆除業者に依頼し、営巣一個につき市民負担は四千元です。
- 問** ハチ駆除用防護服の貸出制度を行っている自治体もあるが。
- 答** スズメバチ以外の駆除は自己負担なので、制度を検討します。
- 問** 市営墓地整備の要望があるが、昨年「市営公園墓地建設」の要望書が、千人あまりの署名と

ともに提出されました。

- 問** 要望に関して対応しているか。
- 答** 適地の選定に努めています。
- 問** 未利用市有地の活用はどうか。
- 答** 候補の一つとして検討します。
- 問** 今年度の取り組みは。
- 答** 市民ニーズを把握するため住民意識調査を行います。
- 問** その調査は建設の是非か、建設を前提にしたものか。
- 答** 建設を前提にしたものです。
- 問** 納骨堂整備の考えはあるか。
- 答** 調査結果を得て検討します。



スズメバチの巣



柳 沢 浩之
(清風クラブ)

福祉行政・血液人工透析患者・ 市立図書館について

障がい者支援について

- 問** 七月に発生した障害者施設殺傷事件の受け止めは。
- 答** この事件に憤りを感じます。
- 問** 社会的少数者への差別的犯罪に對しての答えは。
- 答** 人格と個性を尊重して共生する社会を目指しており、差別的犯罪は、あつてはならないと考えます。
- 問** 障害者差別解消法が施行されたが、本市の現状は。
- 答** 「障害を理由とする差別解消の推進に関する対応要綱」を策定し、周知に取り組んでいます。
- 問** 防犯体制の強化に向けて、施設の施錠の強化や監視カメラの新設、警察との連携が必要では。
- 答** 施錠の徹底や監視カメラの設置、警察との連携は、有効な防犯対策であり、国では、防犯カメラ設置費用などの補助を計上しています。
- 問** 福祉施設で働く職員の防犯に

関する教育や訓練の現状は。

- 答** 不審者に対する警戒や防犯などのマニュアルづくりが実施されています。
- 問** 福祉施設を対象とした防犯研修が必要では。
- 答** 研修や訓練は、大変重要であり、福祉施設の設立の認可権限を有する県と協議し、実施に向け検討していきます。
- その他、透析治療患者へのサービスの充実、市立図書館の活性化について質問しました。**



福祉課窓口



櫻井 ひろ江
(日本共産党安中市議員)

安中市有害鳥獣捕獲事業における
問題・市内のスラッグ問題・太陽光発
電のルールづくりについて

有害鳥獣捕獲事業の平成二十七年
度からの新体制について

問 新しい体制への経緯はどうか。

答 市の編成した捕獲隊は市が事
務局となっていますが、国の指
針により有害鳥獣対策協議会の
設置や、防除事業や広域連携な
ど、有害鳥獣対策の充実を図り
たい事から関与しています。

平成二十六年までの市捕獲隊へ
の委託事業の市の責任について

問 捕獲隊員でない、猟友会会員
を、捕獲隊に関与させてきたの
は問題だったのではないか。

答 捕獲隊は委託された捕獲事業
の機能を果たしており、任意団
体の運営や人事に市が関与する
事はふさわしくないと考えます。

問 不明金など問題が指摘されて
いるのに、議会答弁で「民主的
に運営されてきたもの」との発
言は問題と思うが、いかがか。

答 捕獲隊及び猟友会が民主的に
運営されてきたか否かの判断は



捕獲されたイノシシ

そこに加入する方々の主観によ
るもので、市が判断するべき事
項ではないと思われる。

收支報告を求める事について

問 二十六年までの委託料決定
の内容審査資料では根拠が不明
朗で、收支報告があれば、問題
点を指導できたのではないか。

答 組織的な会計、経理や運営に
ついては、その団体の会員に帰
すべき問題と考えています。
その他、五項目を質問しました。



田中 伸一
(無所属)

空き家等対策・今後の公共施設の耐
震化計画・中山間地域等直接支払事
業について

空き家等対策について

問 空き家の実態把握調査は。

答 地図業者への調査委託を受け、
地域の実情に詳しい区長会へ協
力依頼を行うことにより、精度
の高い情報が得られます。

問 空き家対策条例の制定に向け
具体的なスケジュールは。

答 特別措置法との整合を図ると
ともに、市独自の対応の条項を
盛り込み、条文の表現等技術的
な審査・確認を行ったうえ、平
成二十九年三月議会への上程を
目標に取り組みます。

問 条例制定後の具体的な取り組
みは。

答 空き家対策条例の制定と併せ、
空き家対策計画の策定、空き家
等対策協議会を組織し、より専
門的に高度な指導、助言をいた
だき、実効性の高い事業への取
り組みを進めます。

問 移住定住への取り組みは。
答 本年四月に地域創造課が新設



地域創造課窓口

され、現在、移住定住への適切
な支援策、優遇制度について調
査研究を進めています。

問 移住定住希望者への受け入れ
策は。

答 情報発信に努め、併せて住ま
いの確保は重要です。このよう
な中、空き家を活用した移住定
住促進策として、空き家バンク
の設置など総合的に取り組みを
検討します。

その他、二項目について質問し
ました。



小川 剛
(清風クラブ)

選挙に関する取り組みについて

十八・十九歳の投票率について

問 選挙権年齢引き下げの歴史的選挙率は、十八歳より十九歳投票率が低い結果となり、若者全体の投票率が低下傾向である。会社等への投票の周知要請や学生への郵送での周知等色々な施策への検討が必要と考えるがどうか。

答 指摘の方法も含め対策を講じます。今回の選挙では十八・二十歳の市職員の声で選挙や投票への周知を広報車で流しました。**主権者教育について**

問 今後の取り組みについては。
答 模擬投票の実施や発送段階に応じた主権者教育を進めます。**子ども議会について**

問 議会側で開催したが教育委員会としての感想はどうか。
答 子ども議員の中学三年生代表者が当市の現状や将来を質問し感銘を受けました。主権者教育としても有効であり今後の企画や運営は議会側と検討します。

障がい者の選挙について

問 障がい者への選挙に関する配慮した施策は。

答 期日前投票所は車いす用スロップや車いすを用意しています。投票所は市の施設だけではないため段階解消のスロップが無い場所もあります。視覚および聴覚障がい者の対応も図りました。

問 障がい者施設へ出向いた模擬投票の実施はどうか。
答 施設の要望があれば選挙の公正を外さない範囲で検討します。



松井田高校での模擬投票



小林 克行
(民声クラブ)

重要文化財・スポーツ振興について

重要文化財について

問 アプトの道トンネル内のライトをLED化するなど維持管理の節約をすべきでは。

答 交換時のLED化の検討やその他節約に向けて努力します。

問 熊ノ平駅や橋梁など碓氷峠鉄道施設の国指定重要文化財追加事業の見通しは。

答 関係者のご協力を頂き、整其次追加申請を行う予定です。

問 旧碓氷社本社を安中市が所有し管理を行う計画はあるのか。

答 維持費や環境整備で多大な経費が必要となるので様々な検討が必要です。**スポーツ振興について**

問 西毛総合運動公園の野球場の今後の管理計画は。

答 今年度はコンサルに委託して専門的な調査結果や緊急性を踏まえ基本方針を検討します。

問 市内高校の部活動において、少ない部費の中で校外の社会体

育施設を利用する際の利用料金は大きな負担になっている。また安中総合学園高校ボクシング部においては、合併後旧安中高校のリングを練習で利用する際に利用料が発生しており経済的理由から満足な練習ができていない。高崎市や富岡市のように教育機関は無料で利用できるような減免措置を講じるべきでは。

答 高校の部活動における使用料の減額や減免等については他市の状況を参考に検討します。



老朽化が進む西毛野球場

健康長寿のまちづくり・人口内耳の支援・児童虐待予防の対策について



武者 葉子 (公明党)

「安中元氣いきいき体操」の推進について

問 安中市合併十周年記念に作成されたが、今後の推進計画は。

答 体操を通じて介護予防や健康増進への意識の向上と地域・世代間交流を図れるよう年度計画を作成し、介護予防教室など、各種会場で普及します。

地域スポーツ振興について

問 体育施設予約システムを導入し、市民の利便性を図る考えは。

答 県下十二市では約半数の市で導入されていますが、きめ細かなサービスや費用対効果等を十分検討します。

人工内耳用スピーチプロセッサー買い替え助成について

問 人工内耳の手術を受けた方はスピーチプロセッサーの装着ではじめて声を聞き取り理解ができる。高額のため、買い替え助成制度が必要だが、市の見解は。

答 医療、福祉の在り方を見極め、

どのような支援ができるか検討します。

子育て応援の取り組みについて

問 年々増加し続ける児童虐待の芽を事前に摘むためには、妊娠・出産・子育てへの切れ目のない支援が必要です。市の子育て応援の施策は。

答 相談体制の強化や交流の場・機会の充実や、養育支援の必要な家庭へ保健師などが訪問する「養育支援訪問事業」の実施を検討します。



いきいき体操

自然災害対策における被災者台帳「被災者支援システム」の導入・運用について



上原 富士雄 (公明党)

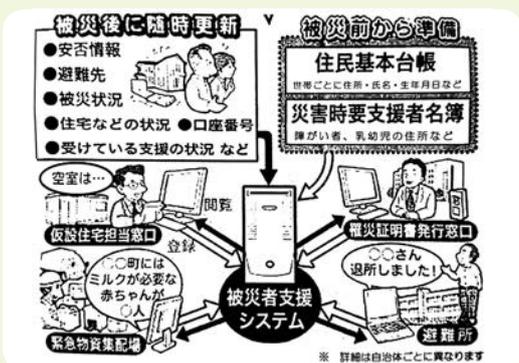
問 災害対策基本法が大きな自然災害が起こる度、毎年のように改正されている。従来の防災・減災対策に加え、昨年は新たに過去の事例に習い、被災対策が盛り込まれた。事前の被災者台帳の作成とともに、情報通信技術を活用した、被災者支援システムの構築を促す内容になっている。現在では既に全国千七百十八の市町村中、五四・七％の市町村が導入している。大災害時には、市民や地域また市当局も混乱が想定される中で、日頃から迅速に対応できる備えが必要である。市当局の考えは。

台帳を作成しておき、災害時に被災者支援を円滑に行う為のものと認識しています。

答 被災者台帳の作成並びに、被災者支援システムの導入については、被災者支援システムについては、既に五市が導入済です。これは阪神淡路大震災の際に、兵庫県西宮市が独自開発したもので、住民基本台帳を基に、災害支援に係る各種被災者支援業務を一元的に管理する

問 防災・減災・被災対策として被災者台帳の作成、並びに支援システムの導入は当然の事と思う。地方自治体情報システム機構より、講師派遣やデモシステムの提供もあると聞く。行政として検討した経過はあるか。

答 講師派遣の利用実績はありません。デモやシステム導入については、今後検討していきます。



被災者支援システム図



金井久男
(日本共産党安中市議員)

農業振興・
地域公共交通対策について

耕作放棄地の解消について

問 耕作放棄地、遊休農地が、急増しているのではないか。

答 荒廃農地面積については平成二十七年には五百九十八ヘクタール、五年間で十ヘクタール増となっております。

問 農地中間管理機構の制度が始まったが実際に契約があったか。

答 二十七年に松義台地で貸し付け希望三十ヘクタールに対して、一団体に對して契約が十五・六ヘクタールありました。

担い手の育成について

問 青年就農給付金制度の利用が二十七年度はなかった。この制度をもっと積極的に市のホームページなどで宣伝すべきでは。その後の実態については。

答 二十八年度に新たに一人います。今後はホームページなどで周知できるように検討したい。

養蚕振興対策について

問 富岡市では六人を受け入れて

いる「地域おこし協力隊」この制度を活用し、養蚕業の担い手を育成してはどうか。

答 今後関係団体と協議していきたい。

問 養蚕、シルク産業の分野でも富岡市などの連携を緊密に図っていくべきでは。

答 県全体で三十二年ぶりに繭が増産となりました。関係機関と連携を進めていきたい。

その他、地域公共交通問題の見直しについて質問しました。



碓氷製糸の工場内

子ども議会を終えて

子ども議会終了後、子ども議員の皆さんにアンケートを実施しました。

アンケート結果を見ると、子ども議員の過半数はそれまで市議会に関心がなかったようですが、子ども議会実施後は、ほとんどの子ども議員が安中市議会に興味や関心を持ったと答えています。さらに、子ども議員の全員が、子ども議員になってよかった、安中市のまちづくりに興味や関心を持ったと答えています。

このアンケート結果からも分かるように、子ども議会の開催が安中市や安中市議会にとって有意義であったことはもちろんですが、未来を担う子どもたちへの主権者教育としても大変有意義な施策であったと考えられます。また、学校教諭や保護者など多くの方々が傍聴に来ていただき、今まで以上に安中市議会を身近に感じていただいたようであります。

アンケート結果

子ども議会を通して、安中市議会に興味・関心を持ちましたか。

件数	
すごく興味・関心をもった	10
興味・関心をもった	11
あまり興味・関心をもたなかった	1
まったく興味・関心をもたなかった	0

子ども議会に参加する前は、安中市議会に興味・関心がありましたか。

件数	
すごく興味・関心があった	2
興味・関心があった	8
あまり興味・関心がなかった	10
まったく興味・関心がなかった	2

子ども議会を通して、安中市のまちづくりに興味・関心を持ちましたか。

件数	
すごく興味・関心をもった	13
興味・関心をもった	9
あまり興味・関心をもたなかった	0
まったく興味・関心をもたなかった	0

子ども議員になってよかったですか。

件数	
すごくよかった	17
よかった	5
どちらかといえばよかった	0
よくなかった	0



一般会計・5つの特別会計及び3つの事業会計決算を認定 平成27年度 一般会計決算

歳入総額 269億8,692万5,401円
歳出総額 261億4,198万8,129円

平成27年度 特別会計及び事業会計決算

会 計 名		歳入決算額	歳出決算額
安中市国民健康保険特別会計		80億5,563万5,664円	80億3,318万1,814円
安中市後期高齢者医療特別会計		6億8,289万3,975円	6億8,044万2,516円
安中市介護保険特別会計		56億3,968万2,458円	55億6,234万7,043円
安中市下水道事業特別会計		11億8,386万9,140円	11億7,037万4,545円
安中市健康増進施設恵みの湯事業特別会計		1億9,142万2,674円	1億8,697万8,624円
安中市水道事業会計	収益的	13億4,483万6,430円	12億7,923万3,283円
	資本的	2億5,629万208円	7億8,061万7,576円
安中市病院事業会計	収益的	26億9,291万6,853円	26億9,689万5,265円
	資本的	1億6,699万7,000円	2億7,544万171円
安中市介護サービス事業会計	収益的	4,141万4,205円	4,675万389円
	資本的	0円	99万6,060円

決算審査特別委員会

決算審査特別委員会は、市の予算が目的どおり正しく執行され、十分な成果をあげているかなどを詳細に審査するために、議長及び議会選出の監査委員を除く全議員を選任して設置された委員会です。審査の中で行われた主な質疑は次のとおりで、それぞれ執行部から答弁がありました。

なお、答弁の内容は、紙面の都合で省略させていただきます。

一般会計歳出

【総務費】

- 魅力あるコミュニティ助成事業補助金について
- 市民法律相談事業の年間相談人数について
- マイナンバー制度関係の財源と内訳、交付状況、利用について
- ふるさと納税の状況について
- 街路灯をLEDへ変更後も光熱水費が減額しない理由について
- 個性ある地域づくり推進事業補助金の内容について
- 行政評価導入・推進事業の委託

料の内容・状況について

- 職員提案制度推進事業の報償費の内容・継続の有無について
- 職員研修事業の派遣研修・自主研修の詳細について
- 合併十周年記念事業の成果・総括について
- 地域振興基金積立金の使途について
- 地方創生先行型事業の委託料の内訳について
- 職員人件費の勤勉手当の内訳について
- 多文化共生推進事業について
- 電子入札共同システム運用の進捗状況と今後の見通しについて
- 路線バス対策事業の路線毎の乗車密度・今後の運行、相乗りタクシーの実績・拡充について

【民生費】

- 臨時福祉給付金給付事業の申請却下理由・全対象者数・申請が困難な人への対応について
- 老人クラブ育成事業の補助金減少要因について
- 老人福祉センター運営事業の委託料の内容について
- 臨時福祉給付金の成果と実績に

ついて

●生活困窮者自立支援事業の相談内容と対処方法について

●学習援助事業の利用者と指導者の状況、周知方法、教育委員会との連携について

●発達障害児支援事業の消耗品費・備品購入費の減額理由と今後について

●放課後児童クラブ建設事業費補助金の財源と実績について

●老人保護措置事業委託料の使途について

●特別養護老人ホームの待機状況・入所要件について

●介護予防支援事業について

●特別養護老人ホームの増設計画はあるのか

●心身障害者扶養共済事業年金受給者の年齢・対象要件について

●老人福祉センターの営業時間を再び延長する考えはないか

●幼稚園が認定こども園になったメリット・委託料の内訳・保育職員の処遇改善について

●生活保護相談について

●タクシー利用券助成事業委託料の内訳・交付枚数・利用枚数・

残部処理について

【衛生費】

●すみれヶ丘聖苑の式場利用について

●公的病院等運営費補助金を松井田病院に支払っているが碓氷病院には適用できないのか

●休日歯科診療事業運営費負担金・第二次救急医療事業負担金・小児医療について

●すみれヶ丘聖苑の駐車場の管理運営について

●資源ゴミ集団回収奨励金の減額要因・推進について

●公害対策費公害防除特別対策事業の進捗状況について

●熱帯植物園入館者の増員対策について

●エコスポット・ペットボトル回収機の増設は考えないのか

●公的病院等運営費補助金の使途は報告を受けているのか

【労働費】

●安中松井田労働教育委員会のレクリエーション・市内職場見学の内容・今後について

●雇用創出事業の内容・今後の雇用増進について

【農林水産業費】

●世界で戦えるこんにやく総合対策事業補助金の対象基準・応募件数・周知方法について

●農作物災害対策事業で雪害の件数・被害額について

●認定農業者の数と支援について

●有害鳥獣対策事業の実績・奨励金について

●安中榛名駅周辺交流広場管理費について

●特用林産物活用施設等整備交付金で建てた作業棟について

●地産地消対策補助金の内容・拡充について

●地域農業再生協議会補助金の目的・内容・今後について

●農業振興対策事業の有害鳥獣害防除機材購入補助金と有害鳥獣対策事業の有害鳥獣害防除機材購入費の違い・有害鳥獣への発信器取り付けについて

●優良繭生産出荷奨励補助金の内容・戸数・掃き立て箱数・収繭量について

●農地青年就農給付金の実績・農地集積交付金の内容について

●酪農ヘルパーの育成について

●蚕糸業継承対策事業の碓氷製糸見学受入体制整備内容について

【商工費】

●国民宿舎閉館後の活用について

●八風平キャンプ場の入場者数について

●観光協会補助金の増額要因について

●プレミアム付商品券の委託業者が地元商工会でなかった理由について

●峠の湯再開後の入場者数・評価への対策について

●プレミアム付商品券の発行実績と利用実績の差額はどのようにしているのか

●企業誘致促進事業のアンケートの実施の有無と結果について

●企業誘致以外に市内の中小業者の育成も重要ではないか

●地方創生先行型事業について

【土木費】

●旅館ホテル耐震診断事業費補助金は全てのホテル旅館が対象になったのか、対象にならなかったところの耐震については

●市独自で除草を行っている割合・除雪作業の委託料決定方法につ

いて

- 米山公園の管理について

【消防費】

- 女性の登用の整備が遅れていること・休日勤務について
- 詰所の作り替えを行う時に、部の編成も考慮しているか
- 防災行政無線事業の修繕料と委託料について

- 安中市の消防員の充足率・企業に対する協力依頼について

【教育費】

- 臨海学校閉校理由と代替事業について
- 松井田城跡保存活用基金が運用されていない点について
- 不登校の児童生徒数・ケア方法について
- 廃校維持管理事業の対象数・委託内容・委託先について
- 野球場防球ネット設置工事以外の工事請負費の内訳・今後について
- 図書館の貸し出しVHSとDVDの比率について
- 松井田城跡保存活用基金積立金を利用して視察見学会等の企画を要望してきたかどうか

- 被災幼児児童生徒就学支援事業が決算書に記載されていない理由について

- いじめ防止対策推進事業の内容について
- 久芳ゲートボール場の利用者について
- 武家屋敷の屋根の葺き替えは二十七年度では行っていないのか

【公債費】

- 市債残高・これからの地方債の発行について

一般会計歳入

- 個人市民税・法人市民税の増収の要因について
- 地方譲与税の特徴について
- 個人・法人市民税、固定資産税、都市計画税の滞納者数・高収入滞納者・差押えについて
- 学校給食無料化の意義、所得制限、市外通学者とのバランスについて
- 地方交付税減額の要因について
- 財政調整基金繰入金減額の要因について
- 市債減額の要因・合併特例債の借入について

一般会計反対討論

安倍政権の景気浮揚策アベノミクスの成果は大企業と資産家には恩恵があったものの、一般市民の収入には全くありません。むしろ勤労者の実質賃金は五年余も下がり続けています。消費税率引き上げから二年経過した今でも、国民の可処分所得が増えず、その結果がGDPの落ち込みに端的に示されています。

それを反映して個人市民税は、千四百九万円、前年比〇・五%と微増に留まる一方で、企業の実績は伸びを見せ、法人市民税は、二億二千八百八十二万円、前年より九・九%と増収となり、国の法人税減税をはじめ各種優遇税制が表れています。

もっとも特徴的なのは、地方消費税交付金六九・七%増、株式等譲渡所得割交付金三四%増、などという数字に、消費税率引き上げと資産家の株取引など、国の施策の反映がはつきり表れている決算です。

一般会計賛成討論

平成二十七年一般会計の歳入では、地方消費税交付金の増収があったが、地方交付税等は減収となり、歳出では行政需要の増加を受け、財政調整基金を取崩したが、残高を維持し、実収支額も黒字決算となり評価できる。主な事業の成果としては、人口ビジョンと総合戦略を策定し、今後の方向性を定めている。また、「障害者支援センターまついだ」新設による障害者福祉の充実、学童クラブ建設や乳幼児二次健診事業等子育て支援にも力を入れている。峠の湯の再建は、観光・地域振興につながる期待される。更に教育施設の耐震化事業の完了は、安全安心の確保の観点から、評価できる。

しかし、法人市民税率引下げ、普通交付税の合併算定替えの段階的縮減により、財政状況が一段と厳しくなるなど課題もあげられる。今後は、更なる自主財源の確保と事務事業の見直しにより、行財政改革にまい進するよう要望します。

平成28年3回定例会 議員個人の賛否結果一覧表

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。その他の議案は全員賛成で可決されました。

議案名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	結果
	議員名	金井久男	櫻井ひろ江	遠間大和	壘次雄	巽久男	小林克行	太田進一	櫻井喜久江	小川剛	柳沢浩之	今井敏博	吉岡完司	佐藤貴雄	吉岡登	高橋由信	武者葉子	上原富士雄	齊藤盛久	奥原賢一	田中伸一	柳沢吉保	廣瀬晃	
議案第89号	平成27年度安中市一般会計歳入歳出決算認定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第90号	平成27年度安中市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第91号	平成27年度安中市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第92号	平成27年度安中市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
議案第95号	平成27年度安中市水道事業会計剰余金処分及び決算認定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決及び認定
議案第98号	平成28年度安中市一般会計補正予算(第2号)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

※吉岡 完司議長は、採決に加わらないため「-」としています。

【○：賛成 ×：反対 除：除斥 欠：欠席】

●安中市市税条例等の一部を改正する条例の制定について

地域再生法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、群馬県が定めた本市における地方活力向上地域として指定された地域内に、東京二十三区からの本社機能の移転、又は、地方にある本社機能の拡充を行う事業者に対して、不均一課税を行うことで支援し、本市における就業の機会の創出、及び経済基盤の強化を図るため、条例を制定したいというものです。

●安中市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

所得税法等の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い、市民税で分離課税される特例適用利子等・特例適用配当等の額を、国民健康保険税の所得割額の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含めるといったことなどが施行されることに伴い、条例の一部を改正したいというものです。

●安中市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料条例の一部を改正する条例について

建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律による消費性能に係る認定の申請について、群馬県と同様に建築物エネルギー消費

人事関係以外の議案



八風平キャンプ場

する条例について

地方税法等の一部を改正する等の法律等が公布され、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、いわゆるマイナンバー法が施行されたことに伴う改正など、順次施行されることに伴い、条例の一部を改正したいというものです。

●安中市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

所得税法等の一部を改正する法律等が公布されたことに伴い、市民税で分離課税される特例適用利子等・特例適用配当等の額を、国民健康保険税の所得割額の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含めるといったことなどが施行されることに伴い、条例の一部を改正したいというものです。



恵みの湯

施設恵みの湯事業特別会計補正
予算(第一号)

意見書案を可決

意見書とは、地方自治法に定められているもので、国や県などに対し、地方議会が文書で意見具申をすることが出来るものです。

今定例会には、一件の意見書(案)が提出され、可決されました。

《可決された意見書》

● 地方財政の充実・強化を求める意見書

可決されました意見書は、内閣総理大臣をはじめ、国会及び関係省庁に送付しました。

請願・陳情

皆様から提出されました請願および陳情の審査結果は、次のとおりです。

《採択となったもの》

● ひさよし緑地公園駐車場増設及び九十九川歩道橋設置等の請願

● 杉名地区内道路拡幅に関する陳情

● あんなか学童クラブ施設整備に関する請願

次の定例会(予定)

次の定例市議会は、十二月二日から十二月十五日までの十四日間の会期で開催される予定です。

◇ 2日 ≡ 本会議 開会、議案の上程等

◇ 12日 ≡ 本会議 一般質問

◇ 13日 ≡ 本会議 一般質問

◇ 15日 ≡ 本会議 委員長報告、採決等、閉会



安中学童第二クラブ

編集後記

大型の台風による土砂災害や河川の氾濫等の被害で亡くなられた方々にお悔みを申し上げると共に、被害にあわれた方々に心よりお見舞い申し上げます。

九月定例会では、決算審査特別委員会が設置され、平成二十七年年度決算について活発な議論が行われました。また、十名の議員による一般質問が行われ、市政全般について執行部と議論を交わしました。お忙しい中、傍聴にお越しくださいました市民の皆様には感謝申し上げます。

今後も市民の皆様の声を真摯に受け止め、市政に反映していくよう努めてまいります。(小林)

連絡先

安中市役所 議会事務局宛
☎ 382-1111 内線 1349番

編集委員

- ◎武者 葉子
- 太田 進一
- 金井 久男 遠間 大和
- 翼 久男 小林 克行
- 小川 剛 柳 沢 吉保